



# 精神科看護管理ニュース



Vol.

134

発行 日本精神科看護協会

2025/12/12

## 1 令和8年度診療報酬改定に向けて精神医療②の議論が行われました

令和7年12月5日、中央社会保険医療協議会総会（第633回）において、精神医療の診療報酬見直しに関する2回目の議論が行われました。5日に厚生労働省保険局医療課より提出された資料では、主に外来医療についての検討がなされ、「通院・在宅精神療法について」、「早期診療体制充実加算について」、「情報通信機器を用いた精神療法について」、「児童思春期支援指導加算について」の課題と論点が提示されました。

### 1. 精神医療に係る論点

#### 【外来医療について】

- 精神科外来において初診をより積極的に診療する体制を確保する必要があることや、精神保健指定医が地域で果たす役割をさらに評価する観点から、通院・在宅精神療法における初診・再診の評価のあり方について、どのように考えるか。
- 早期診療体制充実加算に関して、地域の精神科救急医療提供体制を担う病院との連携体制を構築した上で、入院患者の地域移行・地域定着等に積極的に取り組む診療所についても評価の対象とすることについて、どのように考えるか。
- 「情報通信機器を用いた精神療法に係る指針」の見直しの状況を踏まえ、指針に沿った形で行われている初診精神療法についても評価を行うことについて、どのように考えるか。またその際、再診精神療法と同様に質の高い精神医療の提供に資する施設基準を設定することについて、どのように考えるか。
- 児童思春期の精神疾患患者の受入体制をさらに確保する観点から、児童思春期支援指導加算の評価のあり方について、どのように考えるか。

#### 【個別的事項について】

- 公認心理師による心理支援の提供実態や効果をふまえ、心理支援加算の対象疾患の拡大や、認知行動療法的アプローチに基づく心理支援への評価を新たに行うことについて、どのように考えるか。また、認知療法・認知行動療法の実施に際して毎回医師の介入を求める要件等を緩和することについて、どのように考えるか。
- 同一の精神保健福祉士による継続的な伴走支援を推進する観点から、病棟に専従配置されている精神保健福祉士が、当該病棟からの転棟後の患者等の継続的な支援を行えるようにするなど、専従となっている職務の範囲を柔軟化することについて、どのように考えるか。

※ 詳しい内容については、日精看オンライン「制度・政策ページ」の「中央社会保険医療協議会 総会 第6233回資料」からご覧ください。  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_66697.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_66697.html)

## 2 「令和8年度日精看診療報酬改定説明会」1月7日から受付開始します

【申込方法】  
マナブル  
(manaable)

①東京会場	3月15日(日) 14:30~16:30	ビジョンセンターグランテ東京浜松町
②福岡会場	3月20日(金・祝) 14:30~16:30	TKPガーデンシティ博多
③岡山会場	3月22日(日) 14:30~16:30	サンピーチ岡山
④福島会場	3月28日(土) 14:30~16:30	郡山商工会議所
⑤大阪会場	4月4日(土) 14:30~16:30	エル・おおさか



- 本ニュースは、配信を希望された日精看会員の方にメールかFAXでお送りしています
- 本ニュースのPDFは日精看ホームページ「看護管理者の部屋」でダウンロードできます
- 配信の中止、配信先の変更は、日精看事務局までお知らせください
- 日精看事務局 〒108-0075 東京都港区港南2-12-33 品川キャナルビル7F tel 03-5796-7033 fax 03-5796-7034

1/1